

# ほけんだより 4月号

2026年4月6日発行  
向陽台保育園  
看護師 佐藤悦子

ご入園、ご進級おめでとうございます。新年度を迎え、ひとつ大きくなった！という喜びと期待いっぱいの笑顔に出会うことができ、とてもうれしく思います。保健に関する情報を「ほけんだより」を通してお知らせしていきます。



## ●●● 年間保健行事予定 ●●●

【毎月】・身長・体重測定（6、11月 頭囲・胸囲測定）

※日程はほけんだよりでお知らせします

・0歳児クラス健診

【10月】年長（5歳児）視力測定 歯科検診（全園児）

【3月】年少（3歳児）年中（4歳児）視力測定

★内科健診（0歳児クラスは毎月）年2回 日程調整中

※都合により変更になる場合があります。ご了承ください

・身体測定結果は**コドモン** その他→**成長記録**でお知らせします

### お世話になります 園医紹介

小児科：武井 牧子 先生  
（長峰クリニック）

### 3月感染症情報

- ・溶連菌感染症 2名
- ・ウイルス性胃腸炎 1名

### 身体測定

<0歳>	7日（火）
<1歳>	6日（月）
<2歳>	7日（火）
<うみ>	} 6日（月）
<もり>	
<そら>	

※都合により変更する場合があります。欠席しても別日に測定します

◆0歳児健診 20日（月）

## 意見書・登園届について

罹患した子どもが登園を再開する際、周囲への感染拡大を防止する観点から、学校保健安全法施行規則に規定する出席停止期間の基準に準じています。疾患の種類によって医師が記入する「意見書」、保護者が記入する「登園届」があります。コドモン ホーム画面下 その他→資料室にて「意見書・登園届」から疾患名の確認、また、必要時プリントしてご使用ください。

## 健康・安全について

「保育所における感染症対策ガイドライン」**こども家庭省/2023(令和5)年3月一部修正**に基づき、乳幼児の生活や行動の特徴、生理的特性を踏まえ、一人一人の子どもと集団全体の両方について、健康と安全を確保するよう努めていきます。

- ◆乳幼児の特性として
  - ・感染症にかかりやすい
  - ・呼吸困難になりやすい
  - ・脱水をおこしやすい等



### 病気の早期発見と迅速な対応のために

- ・登園時の検温の実施 **コドモンへの入力をお願いします**
  - ・目に見える症状がなくても、「いつもよりも機嫌が悪い」「なんとなく元気がない」など気が付いたことがあればお知らせください。
- ※明らかな発熱がなくても、咳がとまらない、鼻水が多く、苦しそう、遊びができない等いつもとは違う症状等がみられる時は、連絡をさせていただくことをご了承ください。

### \* 登園を控えるのが望ましい場合

発熱の時	・24時間以内に38℃以上の熱が出た場合や、又は解熱剤を使用している場合。 ・朝から37.5℃を超えた熱があることに加えて、元気がなく機嫌が悪い、食欲がなく朝食、水分が摂れていないなど全身状態が不良である場合。
嘔吐の時	・24時間以内に複数回の嘔吐がある、嘔吐と同時に体温がいつもより高いなどの症状がみられる場合。 ・食事・水分を摂っても嘔吐しない ・食欲がなく水分も欲しがらない、機嫌が悪く元気がない、顔色が悪くぐったりしているなどの症状がみられる場合。
下痢の時	・24時間以内に複数回の水様便がある、食事や水分を摂るとその刺激で下痢をする、下痢と同時に体温がいつもより高いなどの症状がみられる場合。 ・朝に排尿がない、機嫌が悪く元気がない、顔色が悪くぐったりしているなどの症状がみられる場合。

### 血液、排泄物で汚れた衣類等について



#### ●標準予防策の考え方

「誰もが何らかの感染症をもっている可能性がある」と考えて、対応する方法です。医療施設で実践されている対策ですが、保育所でも可能なものは実践すべき重要な感染症対策です。

◇「**感染の可能性のあるもの**」として取り扱わなければならないもの

血液、体液（精液・膣分泌液）、汗を除く分泌液（鼻水・目やに・痰・唾液・母乳）、排泄物（便・嘔吐物・尿）、傷や湿疹などがある皮膚、粘膜（口・鼻の中・肛門・陰部）

それらのことから、体液に防御なく直接触れてしまうことがないように、血液等で汚れた衣類等については、**園では洗わず**に他の汚れ物とは別に密閉して、お返ししますので、各自の衣類かごにビニール袋を数枚ご用意ください。ご理解、ご協力をお願いします。

